**基本理念：地域に親しまれ信頼される病院**

- 基本方針
1. 患者さん中心の医療を提供します。
 2. 安心・安全な医療を提供します。
 3. 保健・福祉と連携した医療を提供します。
 4. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。

**町立病院新任医師の紹介**

4月から小鹿野中央病院に赴任された先生をご紹介します。

地域包括医療部長 内田 望 先生

4月から町立小鹿野中央病院でお世話になっております、内田望（うちだのぞむ）と申します。自治医科大学を卒業後、高知県で地域医療に携わっていました。よく皆様から、「なぜ小鹿野に来たのか？」と問われますので、自己紹介もかねて説明いたします。

私は生まれも育ちも高知県なのですが、両親はもともと関東出身（父は横浜、母は東京）で、3人兄弟の末っ子である私が大学を卒業したら関東に戻るつもりだったようです。実際そのようになり、大学卒業後の私はというと、高知県のあちこちの田舎をまわり、気づけば19年も経っていました。現在は4人の子供のうち3人が西武池袋線沿線の学校で学んでいることもあり、そろそろ関東に出てくる機会をと考えていたところ、縁あって町立小鹿野中央病院にお世話になることになった次第です。

前任地である梶原（ゆすはら）病院にはのべ7年間勤務しました。梶原町は愛媛県に接した四国カルストのふもとに位置し、町の中心部は標高410mもあります。南国高知というイメージにはほど遠く、四国のチベットともいわれており、冬には積雪もあります。また、坂本龍馬が脱藩した町としても知られます。人口は3700人程度で、病院は町内には梶原病院しかなく、隣接した保健福祉支援センターの保健師をはじめとする職員とともに、いわゆる地域包括医療・ケアを展開していました（地域包括ケアとは、町民の「この町で暮らし続けることができよかった」を支えるために、保健・医療・福祉・介護の職員が協力しあって進めていく地域医療のことです）。梶原はいい地域包括医療・ケアができていると自負していましたが、ここ小鹿野町に来てびっくり。病院スタッフと保健福祉センター職員やヘルパーさん、訪問看護師の方々、薬局の薬剤師さんといった本当に多くの方々協力し合いながら、梶原には比べものにならないくらいすばらしい地域包括医療・ケアがなされていたのです。これからのここでの勤務がとても楽しみになっております。

「この町に町立病院があつてよかった」といわれる病院を目指して、皆様と一緒に「この町で暮らし続けることができよかった」といわれる町づくりをしていくことができれば幸いです。

宜しく願いいたします。

**内科医長 物部芳郎 先生**

初めまして、平成28年度に小鹿野中央病院の内科医として勤務いたします物部芳郎（ものべよしろう）と申します。過去に平成25年度、平成26年度と2年間勤務したことがありますので覚えていらっしゃる方がいらっしゃればお久しぶりになるかもしれません。

以前住んだことがあるので小鹿野町のことはある程度知っております。とても住みやすく住んでいる人々もとても心優しい方が多いと存じております。また赴任できたことを大変ありがたく思っております。

私の医師としての専門は整形外科であり特に腰痛や肩こりに興味を持っております。院長であり整形外科医である関口先生には足元にも及びませんが、そういった分野に関しては住民の皆様のお手伝いができるかもしれません。通常勤務中にはなかなか時間が取れませんが、余裕があるときにご相談いただければお力になれるよう努力いたします。何卒よろしく願い致します。



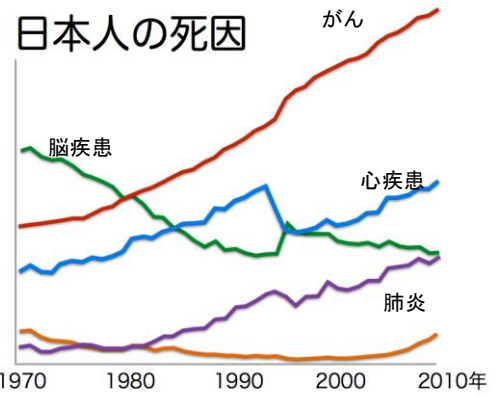
がんの予防、診断、治療。そして緩和ケア ～町立病院ができること～

町立病院の総合診療科医師の加藤寿です。

今月号から「がんの予防、診断、治療。そして緩和ケア ～町立病院が町民のためにできること～」と題しまして、連載で「がん」についてのお話をしたいと思います。

①「がん」の基礎知識：今や「がん」はまさに国民病！

初回の今回は、「がん」についての基本知識をお話いたします。「がん」というのは正常な細胞が、ある時に突然変異を起こし「がん細胞」となり、それが無尽蔵に増殖し、様々な臓器に転移することによって死にいたる、恐ろしい病気です。右の図を見ていただくとわかるように、ここ最近の目覚ましい医学の発展にも関わらず、「がん」で亡くなる人の数は今でも年々増加しています。つまり、現在の医学では「がん」を十分に治療できていないということです。今や、3人に1人が「がん」で亡くなる時代となってしまいました。もちろん「がん」になった人がすべて亡くなるわけではありません。治った人も含めると、生涯に「がん」にかかる割合は男性で3人に2人、女性は2人に1人とされており、まさに「がん」は国民病であり、全く他人事と言えない状況になってきているのです。



では、どんな「がん」が多いのでしょうか？

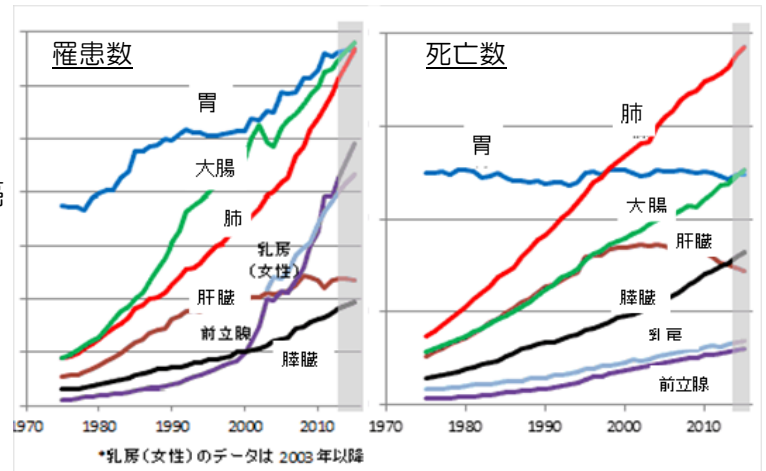
患者数

男性 1位 前立腺癌 2位 胃癌 3位 肺癌 4位 大腸癌 5位 肝癌
女性 1位 乳癌 2位 大腸癌 3位 肺癌 4位 胃癌 5位 子宮癌

死亡数

男性 1位 肺癌 2位 胃癌 3位 大腸癌 4位 肝癌 5位 膵癌
女性 1位 大腸癌 2位 肺癌 3位 胃癌 4位 膵癌 5位 乳癌

「がん」で亡くなる方は男女ともに肺癌、胃癌、大腸癌が多いのですが、患者数としては前立腺癌、乳癌が多くなっています。これらはがんの治りやすさ、進行度に関連しています。



さて、今回は「がん」の予防についてお話します。え、「がん」って予防できるの？ 実は、がんは予防できるんです。是非、お楽しみに！

地域医療座談会開催のお知らせ

小鹿野町で生きる私のストーリー ～上手に使おう地域包括ケアシステム～

全国から評価されている小鹿野町の包括ケアシステムについて、ご存じですか？ わかりやすく楽しくお話しさせていただきます。ぜひご近所お誘いあわせのうえご参加ください。どなたでもご参加いただけます。

事前申し込み不要・入場無料です。

期日：6月3日（金）午後7時開催

会場：小鹿野文化センター 大会議室

講師：内田望先生 加藤寿先生 大久保築世保健師

お問い合わせ：地域医療連携室

外来から《休診》のお知らせ

総合診療科	5月 6日（金）	山下 Dr
整形外科	5月 6日（金）	吉原 Dr
整形外科	5月13日（金）	関口 Dr
耳鼻咽喉科	5月19日（木）	水足 Dr
耳鼻咽喉科	5月23日（月）	塩谷 Dr
眼科	5月27日（金）	播本 Dr

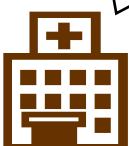
職員募集のお知らせ

職 種：作業療法士（正職員）1名
受験資格：有資格者
募集期間：5月2日（月）から5月31日（火）まで
提出書類：履歴書・作業療法士免許証の写し
試験方法：小論文・面接
採用予定：平成28年7月1日（金）

職 種：薬剤師（臨時職員）1名
受験資格：有資格者
募集期間：5月2日（月）から5月31日（火）まで
提出書類：履歴書・薬剤師免許証の写し
試験方法：面接試験
採用予定：平成28年9月1日（木）

☆年に一度は「人間ドック」を受けましょう☆

お問い合わせ：総合健診センター（病院内）
直通電話：72-7510



〈発行〉 国保町立小鹿野中央病院 〒368-0105 埼玉県秩父郡小鹿野町小鹿野300番地

電話（代表）0494-75-2332 FAX 0494-75-3313

〈ホームページ〉「国保町立小鹿野中央病院」で検索、または「小鹿野町」のホームページからどうぞ。